

令和8年4月から小学生に川崎版環境情報紙「エコチル」の配布を始めます 川崎市と株式会社アドバコムが環境教育の推進に関する連携協定を締結

本市では持続可能な社会の実現に向け、子どもから大人まで、成長段階に応じた継続的な環境教育を推進しています。

このたび、川崎市と株式会社アドバコム（本社：札幌市）は、**児童への環境教育をさらに推進するため**、本日「環境教育の推進に関する連携協定」を締結しました。

本協定に基づき、本年4月に**川崎版の環境情報紙「エコチル」^{*}**を創刊し、市内の市立小学校 115 校の**全児童へ毎月無償で配布**します。

<協定締結の様子（3月19日実施）>



左：川崎市 ^{なかやま}中山環境局長 右：株式会社アドバコム 代表取締役 ^{うすい すみのぶ}白井 純信 様

1 協定内容

- (1) (株)アドバコムが発行する子ども環境情報紙「エコチル」を活用した環境情報の発信に関すること。
- (2) 環境教育の啓発に関する取組等に関すること。
- (3) 本協定の目的に資すると認められる事項に関すること。



エコチル紙面イメージ

2 協定締結日

令和8年3月19日

3 川崎版環境情報紙「エコチル」について

循環経済、脱炭素化、生物多様性など、毎月1つのテーマを設定した特集のほか、夢見ヶ崎動物公園の動物紹介などを掲載した見開き4ページの紙面になります。

創刊号では、特集に4月から全市に拡大する「プラスチック資源一括回収」を含めた「プラスチック資源循環」を、動物紹介に川崎市内でも見られる「ホンドタヌキ」を取り上げる予定です。川崎環境ポータルサイトのリンクから川崎版を電子で閲覧することもできます。



電子版はこちら

※「エコチル」は(株)アドバコムが発行する環境教育情報紙です。「エコロジーチルドレン」の造語の略称で、子どもたちが環境に関心を持つきっかけを作ることを目的に、平成18年に札幌市で創刊されました。イラストを多用した子どもたちが親しみやすい紙面が特徴です。

問合せ先
川崎市環境局総務部企画課 内田
電話：044-200-2385

【締結先企業情報】

(1) 会社名

株式会社アドバコム

(2) 設立

平成 13 年 3 月

(3) 代表者

代表取締役 臼井 純信

(4) 本社所在地

北海道札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 1 - 1 ハクオウビル 3 F

(5) 資本金

1,000 万円

(6) 従業員数

19 名、在宅ワーカー60 名（業務委託）

(7) 事業内容

環境プロモーション（エコチル）事業
プロモーション支援（広告代理業）事業
プロモーション制作（広告制作）事業

(8) エコチル沿革

平成 18 年に札幌版を創刊。以降、東京都や横浜市、大阪市など全国の自治体と連携協定を締結し、配布エリアを拡大。令和 7 年 4 月現在、全国の各自治体で合計約 146 万部を毎月配布（8 月と一部地域除く）。